

大和郡山 防災ニュース 2.11月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

あっ、地震だ、揺れを感じたら シェイクアウトで命を守る行動を！

地震で揺れを感じたら、みなさん、どのような行動をされますか？とお聞きすると、机の下に潜り込むんだね、とか、身を伏せて動かないこと、屋外に逃げる、などという回答が返ってきます。

地震の時の行動の基本は、①まず低く ②頭をまもり ③動かないです。この行動を「シェイクアウト」と言います。

ところが、いざ揺れが来たとき、とっさに体が動かず、ただ呆然と立ちつくしていた、という方も多いのではないのでしょうか。平成30年6月の大阪北部地震は午前8時前に発生しましたが、当時、市役所でも多くの職員が適切な行動をとれませんでした。



つまり、災害が起きたらどのように行動するかを頭で理解しているだけでは、いざという時に体が動かないことが多いということなのです。このため大事なことは、平常時からいざという時にはどう行動するかを実際、体を動かしてみても理解することだと思えます。

さて、7月9日は、奈良県の防災の日で、毎年午前10時30分に「ナラシェイクアウト」を実施しています。（今年はコロナウイルス感染防止で未実施）令和元年には、同時刻にエリアメールを発信しています。来年以降、訓練にぜひご活用ください。

地蔵院川流域に避難準備・高齢者避難開始情報を発令しました！

台風14号の影響で、地蔵院川の下三橋水位観測点で10月10日の午前10時00分から午前11時10分の間、水位が氾濫危険水位の2.2mを超過したため、下三橋町、稗田町に、避難準備・高齢者避難開始情報を発令して、平和地区公民館、平和小学校、郡山東中学校の3避難所を開設しました。平和小学校については、通常開設している他の2避難所において、密が発生するのを避けるため、今回より開設していません。なお、開設時間中に避難者はいませんでした。



災害時避難行動要支援者名簿にご登録のみなさんへ

高齢者や障がい者など災害時の避難に支援が必要な方々で「災害時避難行動要支援者名簿」にご登録いただいておりますみなさんに現状の支援体制についてご報告します。

名簿は、市内の6支援者のうち、消防団、消防署、警察署、民生委員、市社会福祉協議会の5支援者には既に配布を終えています。

もう1つの支援者である地域の自主防災組織については、個人情報保護の協定を締結の上、配布することとなっておりますが、この協定を締結していただいている自主防災組織は全体の2割程度であり、名簿の地域への普及が課題となっております。

名簿活用の普及が遅れている理由としては、①高度な個人情報で管理に不安 ②高齢化やコミュニケーションの衰退で支援する若い人が確保できない、などお聞きしています。市では、①については、まずどなたが支援を求めているかを知っていただくため、簡易名簿(住所、氏名)の選択、②については、要支援者同士の助け合い、などの提案など行っており、これらを解説した「自主防災組織、民生委員の皆様のための『災害時避難行動要支援者名簿活用の手引』」を自主防災組織や民生委員に配布しています。

災害時に地域の情報収集や動員力などの総合力を期待できる「共助」の要は、自治会、自主防災組織です。この力を活かすためには、日常からの相互関係を築くことが大切です。ご登録のみなさんからも地域コミュニティや防災活動への参加など顔の見える関係づくりや地域貢献などにご理解ご協力賜りますようお願いいたします。



令和2年度限り自主防災組織活動事業費補助金について 自治会長にお電話を差し上げています。

今年度限りの自主防災組織活動支援事業補助金について、たくさんの自治会でご活用いただきありがとうございます。現在、未申請の自治会の会長様に市民安全課からご活用をお勧めするお電話を差し上げています。100%補助で世帯数によって限度額10~30万円の使いやすいものとなっておりますので、機材の購入や地域住民への防災啓発物品配布などにご活用くださいますようお願いいたします。

自治会などの防災出前講座依頼も受付中！ 少人数でも訪問します。市民安全課までご相談ください

このニュースは、市民安全課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます

[大和郡山防災ニュース](#) 🔍 検索

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ!』をご覧ください

[大和郡山市消防団へようこそ](#) 🔍 検索

発行人 市役所市民安全課